

# リズム RHYTHM

2023  
Vol.61

## ゆめりあうじは 20周年!



20周年プチインタビュー  
&  
あさぎりフェスティバル予告

P.3

# 「あなたのために思って」?

あなたが自らの意志で行動したり、新しいことを始めようとした時、「あなたのために思って」と前置きしたアドバイスを受けて、立ち止まったり、あきらめたりしたことはありませんか？ 上司や教師、同僚・友人・知人からの言葉として、また身内、なかでも母親から言われた経験を持つ人は多いかもしれません。

この言葉にひそむ心理はケースバイケースですが、話し手のほうが優位であることが前提となっており、親切心を装って自分の考えを押し付け、相手の価値観を尊重せず、意のままにコントロールしたいという気持ちが透けて見えることがあります。その場合、「あなたのため」ではなく「自分のため」に発された言葉だと考えることができるでしょう。そして、言った本人は往々にしてそのことに気が付いていません。

それを優しさだと勘違いすると、アドバイスに従わないのは相手を裏切ることのように感じ、反論を封じ込められ、結果として相手の支配を受けてしまう恐れがあります。人それぞれ価値観が違うことは当たり前であり、誰かの考えに従う必要はありません。相手の意見を頭ごなしに拒否するのではなく、やんわりと感謝の言葉を返しつつ自分の意志を最優先し、ほどよい関係性を保つことを目指してみませんか？

さらに、自分も誰かに同じことをしていないか、いま一度わが身を振り返ってみましょう。

**母娘問題をもっと知りたい! → 先日センターにて開催したセミナー「母と私」の概要は次頁へ**

## 情報ライブラリー図書紹介

センター3階の情報ライブラリーでは男女共同参画につながる図書資料を多数取り揃えています。今回は母との関係について考えるヒントとなる3冊を紹介しします。

『往復書簡 限界から始まる』  
上野千鶴子 鈴木涼美 著  
幻冬舎



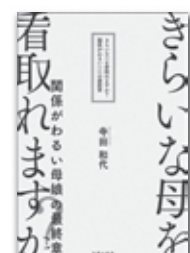
母の生き方が、娘の人生の選択に与える影響とは？その他、女性をめぐる数々のテーマを稀代のフェミニストと気鋭の作家が手加減なしに交わした言葉の応酬。

『母という呪縛 娘という牢獄』  
齊藤彩 著  
講談社



母の期待に応えるため、9年もの浪人生活を送り、ついにその母を殺害した娘。公判を取材し続けた記者による、母娘の相克に迫るノンフィクション。

『きれいな母を看取れますか？ 関係がわるい母娘の最終章』  
寺田和代 著  
主婦の友社



母娘問題に困難を抱えてきた人は、どのように生き抜いて、年齢を重ね、母の介護に向き合うのか。著者自身の経験を含む7人のリアルストーリー。

# 「母と娘のほどよい関係」とは

## 2回連続講座「母と私～母と娘のほどよい関係を考える」セミナーを開催しました

「あなたのためなのよ。」「言う通りにしていれば、大丈夫だから。」

人生の選択をすべてお母さんの言うとおりにしていれば、本当に幸せな人生を送れるのでしょうか。母は娘を苦しめたくて、こうした言葉をつぶやいているのではありません。それを言うことが娘のためになると、真剣に信じています。

そんな思いがわかるからこそ、娘は何も言わずにモヤモヤを抱えているのかもしれない。

近年、父親が育児に関わるが増えてきたとはいえ、いまだ母親が育児のメインである今日、母親が子に与える影響は大きいと言われています。

また、褒められたい、認められたいと期待に沿い続けてしまう子ども時代を過ごす、自分を大切にと思える感覚が養われずに成長してしまい、「私」という輪郭がわからなくなるそうです。

セミナーでは自分の人生を「私らしく」生きてゆくために、母娘の関係を見つめ直し、「ほどよいかかわり方」を学びました。

まずは「自分」を知り、「気持ち」に尋ねて行動してみる。また、考えを整理することで、母との健全な距離を模索してみる。そして自分の人生を堂々と生きてゆくことが何よりも大切であること。

「母の幸せは母自身に任せましょう。娘のあなたが背負うことはありません。」講師の言葉が心に響くセミナーとなりました。



講師 桑田道子さん(フェリアン)

### 私らしく生きてゆくために

- ★自分自身の気持ちをしっかりキャッチしよう
- ★自分の気持ちに尋ねて行動しよう
- ★“相対化スキル”を磨こう
- ★母親との健全な境界線を模索しよう
- ★自分自身の人生を堂々と生きよう

セミナー配布資料より

## 中学生がセンターの仕事を体験しました

6月1日に西宇治中学校2年生の生徒さんが職場体験に来られました。

センターでは、毎年6月23日から29日の「男女共同参画週間」の時期に合わせ、ゆめりあうじ1階のギャラリー ステップワンで啓発展示を行っており、今回は啓発展示物のメインタイトル作成をお願いしました。

多くの方に見てもらうために、どんな色にするか、イラストはどうするか、字の大きさはどうするかなどを皆で話し合いながら、真剣に丁寧に取り組まれている様子がかうかがえました。1日という短い時間でしたが、無事完成し、展示期間中にはたくさんの市民の方に見ていただくことができました。生徒のみなさん、お疲れ様でした。



# ゆめりあ うじ20周年 プチ・インタビュー

JR宇治駅前市民交流プラザ『ゆめりあ うじ』は2003年4月に設立し、今年で20周年を迎えました。

男女共同参画社会づくりに向けた拠点である男女共同参画支援センターのほか、家庭と仕事の両立を支援する施設として、また観光案内や交番など幅広い市民交流の場としてたくさんの方にご利用いただいています。開設以来、センターと深い関わりを持ち、宇治市で活躍中の皆さんからお話を伺いました。(50音順)



## 太田 敏子さん

宇治市女性政策室が出来た時に女性団体の役員をしていた事が、センターとの関わりにつながりました。女性達の連携をしっかりとしたものにするを目的として、あさぎりネットワーク会議を立ち上げ、ゆめりあ うじを拠点とした活動を続けています。夫の勤務先でセンターの女性問題アドバイザーによる出張講座があった際、お話を聞いた後、女性のお茶当番がなくなり、各自で飲むことになったそうです。それをきっかけとして夫婦間で男女共同参画についての話が通じやすくなりました。

UJあさぎりフェスティバル※前実行委員長(1999年～2021年)

あさぎりネットワーク会議 顧問 ※第9回(2003年)から毎年ゆめりあ うじで開催



## 高田 悦子さん

2001年に市政だよりで保育付きの講座「演劇ワークショップ」に応募したのがご縁の始まりでした。ダブルケアを行う中で、ひとりの時間が欲しくて「保育付き」の文字に飛びついたのを今でも覚えています。そこで初めてジェンダーについて学び、改めて自分のこれまでの生き方とこれからどう生きていきたいかを考えるきっかけになりました。その講座のご縁で今のNPOにいます。多くの人との出会いの中で「わたしらしく生きる」ことができています。

宇治市男女共同参画審議会委員(2004年～2018年)

NPO法人働きたいおんなたちのネットワーク 理事、UJ女性会議 修了生



## 西村 英夫さん

病院の事務室という女性の多い職場環境で働いてきたこともあり、男女共同参画の視点は自然に身についていたように感じます。地区労からのご縁であさぎりネットワーク会議に参加し、以来あさぎりフェスティバル実行委員を務めています。在職中は平日の活動は難しかったですが、定年後、より多くの時間を割けるようになり、昨年からは実行委員長となりました。宇治市宣伝大使『ちはや姫』の協力も得て奮闘しています。

UJあさぎりフェスティバル実行委員長(2022年～)

あさぎりネットワーク会議 運営委員(2007年～)、宇城久地区労働組合協議会 役員



## 日野 真代さん

2004年に市政だよりで「宇治発 女性の生き方応援BOOKをつくりませんか?」という記事を見つけたのがセンターとの出会いです。そこで作った「あしたのたね」の名のとおり、その時、取材で知り合ったたくさんの人とのつながりが、今の活動の原点となりました。「あしたのたね」表紙に掲げた「豊かに年を重ねたい」の言葉をモットーに、「つながりプランナー」としてさまざまな活動を続けています。

宇治市男女共同参画審議会委員(2018年～)

NPO法人まちづくりねっと・うじ 代表理事、ギフトショップあおいそら オーナー

市民のみなさんと協働して開催する楽しいイベント

## UJあさぎりフェスティバル2023

市民や市民団体が独自の企画をもちより、日頃の活動報告や情報交流を図るとともに、「男女がともに生き生きと暮らせる地域に根差した男女共同参画社会の実現」に向けて、市民のみなさんと行政が協働して行うイベントで、29回目を迎えます。

楽しい企画がもりだくさんの2日間!ぜひお越しください♪

■と き

9月30日(土) 10月1日(日)

10:00～15:00

■と ころ

男女共同参画支援センター (ゆめりあ うじ内)

♪詳細は、広報うじ9月1日号・チラシをご覧ください♪

同時開催

10:00～16:00

つながれば きっと『ユメ』はひろがる!

ここからチャレンジ・マルシェ

at

JR宇治駅前広場

今年も秋の  
開催だよ～



## 事業所紹介

宇治市内で男女共同参画の視点をもった取り組みを進めている事業所を紹介します。

# 株式会社 Bloom

事業内容：解体工事、駐車場施工、造成工事、外構工事  
従業員数：4名（女性3名／男性1名）  
所在地：宇治市木幡御蔵山 39-1483  
設立：2020年11月 代表取締役：安達 真由

## 「気づき」を大切に～女性が取り組む解体業

創業3年目のフレッシュな会社で、「女性ディレクターによる解体業」を営まれています。とても明るい雰囲気の中、安達社長と女性社員2名の方にお話を伺いました。

解体業には「つぶす・壊す」といった荒々しいイメージがあり男性職場と思われがちですが、Bloomでは女性が重機に乗ることはなく、営業窓口での見積業務や、近隣への説明・挨拶を含めた現場管理までを担われています。「女にはわからないだろう」などと言われぬよう、建設に関わる専門知識を学び、資格等も取得されました。丁寧に話を聞くことで、お客様の要望に「気づく」ことが大切だとのお考えのもと、きめ細かなコミュニケーションを心がけておられます。

今後も出産・子育てなどのライフイベントを経ながら女性が働きやすい職場づくりを進め、女性社員を増やして、将来的には解体業では珍しいという実店舗を持ち、解体工事以外の仕事も手広く手掛けていくことを目標とされているそうです。

**社名の由来** Bloom(ブルーム)は『開花』の意で、解体後の家や土地が新しい未来へ花を咲かせられるように、との願いが込められています。



安達社長(中央)と社員の皆さん  
皆で助け合い、子育て中も生き生きと働ける環境です。

## やはり?ジェンダーギャップ指数後退

G7主要先進国で最下位

日本のジェンダーギャップ指数

# 125位 / 146カ国

政治	経済	医療	教育
138位	123位	59位	47位

世界経済フォーラムが発表する、各国における男女共同格差を数値化した指標「ジェンダーギャップ指数」が発表されました。この指数は「経済」「教育」「健康」「政治」の4分野のデータから成っており、日本は国別のランキングで対象国146カ国中125位(去年は116位)と、過去最低の結果となりました。特に政治と経済の分野で格差解消が進んでいない状況です。世界経済フォーラムは今回の報告書のなかで、現在の進捗速度では、世界の男女格差が解消されるまでに131年かかると推測しています。

## 宇治市男女共同参画支援センターのご案内

宇治市男女共同参画支援センターは、男女共同参画に関する施策の実施や、市民の皆さんによる男女共同参画の推進に関する取り組みを支援する施設です。詳しくはセンターまで。

- ▶▶ 活動スペース・情報ライブラリー・キッズスペース(3階)を利用する
- ▶▶ 印刷室(3階)を利用する
- ▶▶ 会議室(4階)を利用する
- ▶▶ 無料相談を利用する  
女性のための相談・男性のための電話相談  
ここからチャレンジ相談
- ▶▶ 女性問題アドバイザー派遣を利用する

編集 宇治市男女共同参画支援センター 発行 令和5年9月

宇治市男女共同参画支援センターは、男女共同参画に関する施策の実施や、市民の皆さんによる男女共同参画の推進に関する取り組みを支援する施設です。

〒611-0021 宇治市宇治里尻5-9 JR宇治駅前 ゆめりあうじ内

TEL: 0774-39-9377 FAX: 0774-39-9378 E-mail: danjokyoudou@city.uji.kyoto.jp



宇治市男女共同参画課 検索

◆『リズム』は、古紙を配合した再生紙を使用しています◆